

入札公告

制限付き一般競争入札を執行するので、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号。以下「令」という。）第167条の6の規定により、下記のとおり公告する。

平成20年10月31日

石巻市長 土井 喜美夫

記

1 制限付き一般競争入札に付する事項

- (1) 工事名 東流下河北4号污水管渠築造工事
- (2) 工事場所 石巻市大森字大平ほか1字地内
- (3) 工期 契約日から平成21年3月25日まで
- (4) 工事内容
 - 施工延長 L = 319.00m
 - ①管きょ工（小口径推進）
 - 低耐荷力推進工 VPφ150…………… L = 125.00m
 - 鋼製さや管推進工 VUφ150・STKφ350…………… L = 27.00m
 - ②立坑工
 - 小型鋼製立坑…………… 7箇所
 - ③地盤改良工
 - 薬液注入…………… 一式
 - ④管きょ工（開削）
 - 開削工 PRPφ150…………… L = 167.00m
 - ⑤マンホール工
 - 組立1号マンホール…………… 9箇所
 - 組立2号マンホール…………… 1箇所
 - コンクリート製小型マンホール…………… 5箇所
 - 副管…………… 8箇所
 - ⑥取付管及びます工
 - 取付管・ます…………… 14箇所
 - ⑦付帯工
 - 舗装復旧等（仮復旧）…………… A = 209㎡
- (5) 支払条件 前金払及び部分払 有
- (6) 入札方法 石巻市制限付き一般競争入札実施要綱（平成20年石巻市告示第125号）第4条第2項第2号に規定する入札後資格審査型により、価格以外の要素を評価の対象に加え、価格その他の条件が本市にとって最も優れたものをもって入札に参加した者を落札者として決定する特別簡易型の総合評価一般競争入札

2 入札に参加する者に必要な資格に関する事項

- (1) 石巻市契約規則（平成17年石巻市規則第57号。以下「契約規則」という。）第3条第2項に定める競争入札参加資格承認簿に登録された者で、入札日（開札日）において、次に掲げるすべての要件を満たしているものであること。
 - ① 石巻市内に本店、支店、営業所等のいずれかの機能を有し、石巻市建設工事の競争入札参加者の資格及び格付に関する基準（平成17年石巻市告示第179号）第4条に基づく格付工種（以下「格付工種」という。）が「土木一式工事」、等級が「A」ランクに属する者
 - ② 「土木工事業」について、建設業法（昭和24年法律第100号）第3条第1項第2号に規定する特定建設業の許可を受けている者

③ 平成5年度以降に、小口径推進工法による工事を元請として施工した実績を有する者（特定建設工事共同企業体の構成員として施工した工事については、代表者として施工した場合又は出資比率が20%以上の場合のものに限る。）

④ 次のいずれにも該当する技術者（以下「配置予定技術者」という。）を、建設業法第26条第3項の規定に基づき、本工事現場に専任で配置できる者

ア 入札の参加申請があった日の前日までに「土木工事業」の監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を取得している者若しくはこれに準ずる者*注（以下これらを「監理技術者等」という。）

イ 入札の参加申請があった日の前日から起算して3か月以上前から当該入札参加業者と直接的な雇用関係にある者

ウ 平成5年度以降に、小口径推進工法による工事を元請として完成した管路施設工事の経験を有する者。なお、管路施設工事の経験を有するとは、工事を始期から終期まで従事した場合をいい、従事役職は、主任技術者又は監理技術者に限る。

*注 上記2(1)④アの「これに準ずる者」とは、次の(ア)又は(イ)に掲げる者をいう。

(ア) 平成16年2月29日以前に交付を受けた監理技術者資格者証を有する者

(イ) 平成16年2月29日以前に監理技術者講習を受けた者であって、平成16年3月1日以後に監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有するもの

(2) 次に掲げる者は、入札に参加することができない。

① 入札参加資格審査書類に関して、入札参加資格を有する条件を満たせない者

② 令第167条の4第1項に規定する者

③ 石巻市競争入札参加資格者指名停止等措置要綱（平成17年石巻市告示第180号）第2条第1項の規定による指名停止又は同要綱第12条第1項から第3項までの規定による指名回避を受けている者

④ 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続開始の申立てがなされた者。ただし、同法に基づく更生手続開始の決定を受けた者が、その者に係る更生計画認可の決定があった場合にあつては、当該申立てがなされていない者とみなす。

⑤ 民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立てがなされた者。ただし、同法に基づく再生手続開始の決定を受けた者が、その者に係る再生計画認可の決定が確定した場合にあつては、当該申立てがなされていない者とみなす。

⑥ 入札参加資格審査書類の提出期限（以下「提出期限」という。）において、石巻市発注の手持ち工事（予定価格が130万円を超える建設請負工事をいう。）が、本公告の格付工種について3件に達している者又は総件数で5件に達している者。

⑦ 同一の技術者を、重複して複数の工事の技術者に配置予定とする場合において、他の工事を落札したことにより、配置予定技術者を本工事現場に配置することができなくなった者

⑧ 業務全般に関し、不正又は不誠実な行為の疑いにより、地方公共団体が契約を締結するに、不適当な相手方に該当するおそれがある者

3 入札参加申請

本公告に示した入札に参加しようとする者は、下記6に示す期限・場所等を厳守し、入札後資格審査用一般競争入札参加申請書を持参により提出すること。なお、本公告の申請及び入札参加資格審査書類の作成提出にかかる一切の費用は入札参加者の負担とし、提出された書類は原則として返却しない。

4 総合評価に関する落札者決定基準

特別簡易型総合評価方式に関する本工事の評価項目及び評価基準の設定、評価の方法並びに落札者の決定方法については、別添総合評価一般競争入札（試行）特別簡易型落札者決定基準（以下「落札者決定基準」という。）に示すとおりとする。

5 総合評価に必要な提出書類

(1) 総合評価技術資料調書

下記6に示す期限・場所等を厳守し、落札者決定基準で示した総合評価技術資料調書（様式一総合特簡1）を、「入札後資格審査用一般競争入札参加申請書」提出時に併せて持参により提出すること。なお、総合評価技術資料調書の内容に虚偽が認められた入札参加者は、失格とする。

(2) 総合評価技術資料調書の記載内容を証する資料

開札後、落札者を決定するために、落札者決定基準で示した総合評価技術資料調書の記載内容を証する資料（以下「調書の記載内容を証する資料」という。）が必要となるので、入札日（開札日）当日、忘れずに持参すること（下記12(1)、(3)参照）。

(3) 落札者決定基準で示した総合評価技術資料調書及び調書の記載内容を証する資料（以下「総合評価技術資料調書等」という。）の訂正、差換え及び再提出は認めないものとする。

(4) 総合評価技術資料調書等は、入札参加者の資格審査及び評価以外には使用しない。ただし、当該総合評価技術資料調書等を提出した者から承諾を得た場合を除く。

(5) 総合評価技術資料調書等の作成提出にかかる一切の費用は、入札参加者の負担とし、提出された書類は原則として返却しない。

6 入札日程

手 続 等	期 間 ・ 期 日 ・ 期 限	場 所 等
入札後資格審査用一般競争入札参加申請書及び総合評価技術資料調書の提出期限	平成20年11月19日（水） 午後5時（持参による）	総務部管財課契約グループ
入札日（開札日）	平成20年11月26日（水） 午後1時15分	石巻市相野谷字旧会所前12番地1 河北総合支所2階 212会議室
入札参加資格審査書類の提出（下記12(2)、(3)参照） <u>調書の記載内容を証する資料</u> の提出（前記5(2)参照）	本公告に示した入札（開札）終了後 （持参による）	
設計図書等の閲覧及び複写	平成20年10月31日（金）から 平成20年11月21日（金）まで	市役所本庁舎設計図書閲覧室 （北西側通路脇の別棟） *閲覧期間中、次のところで有料で複写することができる。 ㈱ナリサワ 石巻市駅前北通り二丁目12番27号 電話番号 0225-95-4165
設計図書等に対する質問の受付	平成20年10月31日（金）から 平成20年11月11日（火）まで	総務部管財課契約グループ
回答書の閲覧	平成20年11月13日（木）から 平成20年11月21日（金）まで	市役所本庁舎設計図書閲覧室 （北西側通路脇の別棟）

- (注) 1 上記期間にかかわらず、土曜日、日曜日等石巻市の休日を定める条例（平成17年石巻市条例第2号）に規定する休日は、設計図書の閲覧等を行うことはできない。
- 2 設計図書の閲覧、質問の受付等を行うことができる時間は、午前8時30分から午後5時30分まで（正午から午後1時までを除く。）とする。

7 入札保証金に関する事項

契約規則第5条、第6条及び第7条の規定による。

8 工事費内訳書の提出

初度の入札の際、入札書に記載されている入札金額に対応した工事費内訳書（様式は自由）を提出すること。

9 最低制限価格

本公告の工事については、契約の内容に適合した履行を確保するため最低制限価格を設定する。そのため、最低制限価格を下回る入札をした者は、失格となる。

10 入札の回数

- (1) 入札執行回数は、原則として1回とするが、開札の結果、予定価格の範囲内の価格の入札がない場合は、再度入札を行うものとし、再度入札の回数は、1回とする。
- (2) 最低制限価格を下回る入札をした者は、失格となり、再度の入札に参加することができない。
- (3) 入札の結果、落札者が決定しなかった場合は、令第167条の2第1項第8号の規定による随意契約のための見積り合わせは行わない。

11 入札の無効

本公告に示した入札に参加する者に必要な資格のない者のした入札及び入札後資格審査用一般競争入札参加申請書又は入札参加資格審査書類に虚偽の記載をした者のした入札は無効とし、無効の入札を行った者を落札者としていた場合には、落札決定を取り消すものとする。

また、落札者決定時点で前記2(1)に掲げる要件を満たさない者のした入札及び前記2(2)に掲げる者のした入札は無効とする。

12 入札参加資格の確認・落札者の決定等

- (1) 落札者については、開札後、落札決定を保留し、入札を行った者のうち、最低制限価格以上予定価格以下の範囲内で、本工事の**落札者決定基準**に基づき、総合評価点が最も高い者（以下「落札候補者」という。）の入札参加資格及び総合評価技術資料調書の記載内容を審査し、決定するものとする。
- (2) 入札参加資格審査書類の提出
開札後、落札者を決定するために、下記の**入札参加資格審査書類が必要**となるため、入札日（開札日）**当日、忘れずに持参**すること。
 - ① 類似工事の施工実績調書【「調書の記載内容を証する資料」と共通。ただし、**価格以外の評価点の対象は、過去5か年度実績であることに注意**すること。】
 - ② 配置予定の技術者に関する調書【「調書の記載内容を証する資料」と共通。ただし、**価格以外の評価点の対象は、過去5か年度実績であることに注意**すること。】
 - ③ 手持ち工事の状況調書
 - ④ 特定建設業許可通知書（写し）又は特定建設業許可証明書（原本）
 - ⑤ 経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書の写し

- ⑥ 配置予定技術者に係る「土木工事業」の監理技術者資格者証の写し（表裏両面）及び監理技術者講習修了証の写し。ただし、平成16年2月29日以前に監理技術者資格者証の交付を受けた者は、その写しのみでよい。
- ⑦ 配置予定技術者の健康保険被保険者証の写し
- ⑧ 配置予定技術者の健康保険・厚生年金保険被保険者標準報酬決定通知書の写し、住民税特別徴収税額の決定・変更通知書（特別徴収義務者用）の写し、賃金台帳等の写しのうち、いずれか1通を添付
- ⑨ 配置予定技術者の監理技術者等としての工事施工経験の内容が確認できる契約書・仕様書等の写し。ただし、本市発注工事の場合は不要とする。
- ⑩ 配置予定技術者が監理技術者等として上記⑨の工事を始期から終期まで継続して従事したことを証する書類の写し。ただし、本市発注工事の場合は不要とする。
- ⑪ 入札参加申請者の施工実績の内容が確認できる契約書・仕様書等の写し。ただし、本市発注工事の場合は不要とする。
- (3) 上記(2)の入札参加資格審査書類及び前記5(2)の調書の記載内容を証する資料は、入札日（開札日）当日、落札候補者及び総合評価点が落札候補者に次いで高い者（以下「次順位者」という。）が提出する。
ただし、状況により、入札日（開札日）当日以降に期限を定めて、次順位者から順に総合評価点が高い者から、入札参加資格審査書類及び調書の記載内容を証する資料の提出を求める場合がある。
 なお、入札参加資格審査書類及び調書の記載内容を証する資料を期限内に提出しない者のした入札は、入札参加資格のない者のした入札とみなし無効とする。
- (4) 入札参加資格及び総合評価技術資料調書の記載内容の審査の結果、落札候補者が、入札参加資格を有していない場合又は落札者として不適格と認める場合には、当該落札候補者の入札を無効又は失格とする。
- (5) 前記(3)のなお書又は(4)により、落札候補者の入札を無効又は失格とした場合は、次順位者を新たな落札候補者とし、入札参加資格及び総合評価技術資料調書の記載内容の審査を行うものとする。
- (6) 上記(5)の場合において、次順位者の入札が無効又は失格となった場合は、次順位者から順に総合評価点が高い者について、上記(5)の内容を準用する。
- (7) 前記(1)又は(5)（上記(6)において準用する場合を含む。）の審査の結果、当該落札候補者について入札参加資格を有し、かつ、落札者として適格と認めるときは、その者を落札者と決定するものとする。
- (8) 郵送及び電報による入札は、認めない。
- (9) 落札者の決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の5に相当する金額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札参加者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の105分の100に相当する金額を入札書に記載すること。
- (10) 前記2(2)⑥における提出期限において手持ち工事が件数に満たない場合であって、落札候補者が、提出期限から落札者決定時点までに行われる他の本市入札で落札した場合（随意契約により相手方を決定した場合を含む。）は、その契約前であっても手持ち工事を新たに1件有したものとみなし、合計で本公告の格付工種について3件又は総件数で5件となった場合は、当該落札候補者の入札が、入札参加資格のない者のした入札とみなし無効とする。

13 入札参加資格の審査結果の通知

入札参加資格審査書類を提出した者の審査結果については、一般競争入札参加資格審査結果等通知書により通知する（この通知は、ファクシミリ又は電子メールにより行う。）。

1 4 入札結果の公表

入札参加資格の審査が終了し、本入札の結果が確定した場合は、その結果を、市役所本庁舎設計図書閲覧室（北西側通路脇の別棟）及び市のホームページで公表する。（前記 1 2 (4)、(5)、(6)、等の落札者の決定状況により、日数を要する場合がある。）

http://www.city.ishinomaki.lg.jp/kanzai/posting/posting_result/keka20.jsp

1 5 契約保証金に関する事項

契約規則第 2 5 条及び第 2 6 条の規定による。

1 6 配置予定技術者の確認

落札決定後、配置予定技術者について配置違反の事実が確認された場合、契約を結ばないことがある。

なお、落札決定後、この工事の施工に当たって、申請書に記載した配置予定技術者を変更できるのは、病休、死亡、退職等極めて特別な理由に限る。また、該当理由により、やむを得ず変更する場合は、前記 2 (1)④に掲げる基準を満たし、かつ、当初の配置予定技術者と同等以上の者を配置しなければならない。

1 7 その他

- (1) 石巻市建設工事競争入札参加心得（平成 1 7 年石巻市告示第 1 8 9 号）を遵守すること。
<http://www.city.ishinomaki.lg.jp/mpsdata/web/3449/kokoroe.pdf>
- (2) 前記 1 2 (1)に示す落札者の決定に係る審査に時間を要し、契約締結遅延等が生じたときは、前記 1 (3)に示す工期が変更になる場合がある。
- (3) 落札者は、この工事に係る請負契約を締結した後において、入札が契約規則第 1 3 条第 4 号に該当する行為によるものであったことが明らかになったときは、当該契約金額の 1 0 0 分の 2 0 に相当する額の損害賠償金を支払わなければならない。
- (4) 上記(2)の規定による損害賠償金は、本市に生じた実際の損害額が上記(2)に規定する損害賠償金の額を超える場合は、その超える額につき、なお請求をすることを妨げない。上記(2)の規定により落札者が損害賠償金を支払った後に、実際の損害額が上記(2)に規定する損害賠償金の額を超えることが明らかとなった場合においても、同様とする。
- (5) 詳細又は不明な点については、石巻市総務部管財課契約グループに照会のこと。
(電話:0225-23-6611、23-6612)